## 「メンタルヘルス初級セミナー」

## が開催されました!

八重山労働基準監督署は、沖縄産業保健総合支援センター、沖縄県労働基準協会八重山支部との共催によりメンタルヘルス初級セミナーを開催しました。

講師の御子柴社会保険労務士からは、「真面目で責任感の強い人ほどうつ病になりやすく自分ではなかなか気付くことができないため、管理職の皆さんが部下の変化に気づいてほしい」との説明が行われました。

また、労働基準監督署長からは、全国の精神疾患の労災請求件数が昨年1,409件と過去最高となり、沖縄県でも10件と高水準で労災請求が行われていることからメンタルヘルス対策が重要との説明が行われ、監督課長からは、過重労働対策として労働時間管理を徹底しない場合の刑事的責任、民事的責任、社会的責任や産業医による面接指導の必要性が説明されました。

さらに、雇用均等室長からは、改正パート労働法の説明も行われました。

参加者のアンケート結果からは、セミナーが有益であったとの回答が多く寄せられ、「ものが言いやすく、意見が言いやすく、コミュニケーションが良い職場を作る重要性を学んだ。」「当社のミーティングの際に今回のセミナーの内容を発表したい。」との意見があり、継続したセミナーの開催要望も受けました。

八重山労働基準監督署としては、今回のセミナーに寄せられた意見を参考に災害防止団体との 連携を強化し、今後もセミナー等の開催に積極的に努めていきます。

開催日時 平成26年10月31日(木)14:00~16:30

開催場所 南の美ら花 ホテルミヤヒラ

参加者 62名



